平成19年度　下平間こども文化センターの管理運営に対する評価について

1　指定管理者

(1)　指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2)　指定期間	平成１８年４月１日～平成２３年３月３１日
(3)　業務の範囲	下平間こども文化センターの管理運営に関すること 下平間小学校・古市場小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

2　管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1)　管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。 ②本部の職員体制については管理係長１名、区運営担当主査を３名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	・こども文化センターではこども会議の開催・運営協議会の開催によりニーズの把握に努めた。行事についても小学生向けの行事だけでなく親子、幼児向けや中学生向けの行事を企画し実施した。小学生向けの行事だけでなく親子、幼児向けや中学生向けの行事を企画・実施することによって参加者が増加した行事の実施に関しては、できるだけ利用児童の要望にそって取り組んだ。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。今後は意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めること。
サービスの提供に関すること	運営協議会や地域とは密に連携を図ることによって、協力体制のもとでこども祭り等の事業を実施した。行事についても小学生向けの行事だけでなく親子、幼児向けや中学生向けの行事を企画し実施した。下平間こども文化センターの特徴を活かした行事（イラスト、まちがい探し、食に関する行事等）を行うことができた。管理面については、常に環境整備に努め、館内、外の清掃等を行った。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。
事業の実施に関すること	乳幼児の子育て支援事業として、地域のボランティアによる読み聞かせを月に1回開催した。運営協議会と協働し『こども祭り』『おもちを食べよう』など企画、開催した。こども会議を開催し、こどもの要望を取り入れ、中庭に野菜を作り収穫した。	運営協議会等との連携やボランティアの活用により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後も、ボランティアの活用に努めること。

	個人情報の取扱に関すること	行事名簿・団体名簿・職員者名簿・こども文化センター日誌・わくわくプラザ日誌等様々な個人情報の取り扱いついては、鍵のかかる場所に保管する。電子情報については、フロッピー・メモリー等の館外への持ち出しを禁止し管理をした。また、必要以上のデータコピーは行わず、必要が無くなったデーターは早急に消去した。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
	施設の安全管理に関すること	こども文化センター・わくわくプラザでは怪我、救急法・食品衛生についての研修を行った。こども文化センター・わくわくプラザでは防犯・不審者等侵入防止の研修を行った。こども文化センター・わくわくプラザでは日常の清掃・日常の点検に努めた。防犯、不審者侵入対策防止による研修を行い、施設全体の危機管理体制の確立に努めた。	各種研修の実施や、毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、古市場小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。
(2)　利用状況			
	①こども文化センター	延べ利用者数　16,935人 延べ団体利用数　5,126団体 （主な行事等） ぬりえ・イラストコンテスト 下平間こ文まつり （特色のある行事） バルーンアート体験	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
	②わくわくプラザ	１　下平間小学校わくわくプラザ 登録者数　208人 延べ利用者数　12,884人 （主な行事等） まちがいさがし ペットボトル工作 （特色のある行事） 大型紙芝居 ２　古市場小学校わくわくプラザ 登録者数　178人 延べ利用者数　11,329人 （主な行事等） まちが絵探し 節分、豆まき （特色のある行事） ３，４年生による寄席	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(3)　収支状況		
①　収支状況	（単位：円） 収入　指定管理料　43,612,401 支出　人件費　39,028,969 管理費　2,720,349 事務経費　1,937,847 その他経費　1,436,042 青少年事業資産取得支出　909,090 減価償却引当資産取得支出　40,492 第１回精算に伴う返納金　636,363 合計　46,709,152 差引　▲ 3,096,751	単館では支出が上回ったが、５５館全体での指定管理料内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。

３　管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市５８施設の内５５施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

５５施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

４　来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き５５施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。